

予算	款	項	目	決算書	
	10	6	1	320	頁

目名
保健体育総務費

事業名称
スポーツ推進総務事業

1. 概要

目的	誰もが気楽にスポーツを楽しめる環境を充実する	対象	市民
事業概要	<p>○ スポーツ推進総務事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員報酬(35人、1,750,000円) ・豊後大野市体育協会補助金(12,380,000円) ・各地区スポーツ振興会補助金(7地区、9,086,397円) ・総合型地域スポーツクラブ補助金(3地区、3,090,000円) ・各種スポーツ大会出場補助金(12件、2,009,000円) 		

臨/経	細事業名称	事業内容(主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	スポーツ推進総務事業	各種のスポーツ振興補助金	負担金補助及び交付金	31,843	30,144			5	30,139	3
計				31,843	30,144	0	0	5	30,139	

2. 指標設定

成果指標	指標名	生涯スポーツへの参加		H27	指標の設定理由			
	数値				生涯スポーツ活動への参加者数の増加を促し、一層のスポーツ振興を図る必要がある			
活動指標	指標	a	総合型地域スポーツクラブの加入者数	b	競技力の向上	c	指導者の育成	d
	数値	目標	1,000人	目標	県民体育大会総合8位以内	目標	250人	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
生涯スポーツへの参加		-	-	-
		-	-	-

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 総合型地域スポーツクラブの加入者	人	752 人	750 人	654 人
		75.2 %	75.0 %	65.4 %
b 競技力の向上	位	15 位	12 位	11 位
		53.3 %	66.6 %	72.7 %
c 指導者の育成	人	223 人	220 人	216 人
		89.2 %	88.0 %	86.4 %
d		-	-	-
		-	-	-

4. 課題と対応

課題
子供の体力の低下や高齢者の健康対策が指摘される中、誰もが年代に応じたスポーツ活動が身近な地域で行えるよう学校、家庭、地域と連携した活動の場所をつくり一層のスポーツ振興を図る必要がある。
対応（改善点等）
誰もが参加できるスポーツイベントや健康教室を実施し、生涯スポーツに親しむ機会を提供する。また、継続的にスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団への加入を促進する。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

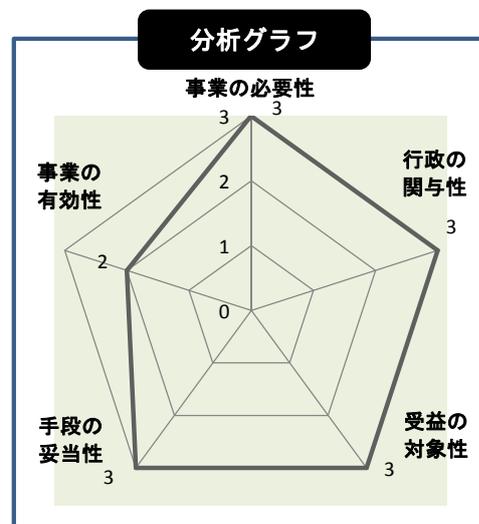
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		31,856	29,010	30,144	36,647
うち経常経費		31,856	29,010	30,144	36,647
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	5	5	5	3,947
	一般財源	31,851	29,005	30,139	32,700
うち経常		31,851	29,005	30,139	32,700
事業費に係る人件費		6,570	8,600	12,881	13,076
事業費に係る人役		1.50	2.00	3.00	3.00

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
競技スポーツの向上とともに市民参加型の軽スポーツを推進し、身近なスポーツとして推進する

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 競技スポーツだけでなく、軽スポーツ、アウトドアスポーツ、介護予防トレーニングなどの普及に努める
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 スポーツ基本法では、国、地方公共団体等において基本理念の実現を図ることを具体的に規定している
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 幅広い年齢層の全市民
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 競技力の向上については検討する
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 競技スポーツの向上とともに市民参加のスポーツを推進する必要がある



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	補助金交付要綱を遵守し、経費の削減を図りつつ、引き続き適正な運営を行うこと。